

2年現代社会 1学期中間試験 問題用紙 2000/05/17

第1問 次の漢字の読みをひらがなで答えよ。(10) 10

- (1) 雇用 (2) 酷使 (3) 緩和 (4) 租税 (5) 賦課
 (6) 困窮 (7) 廃棄物 (8) 利潤 (9) 財源 (10) 通貨

第2問 常識問題について答えよ。(5) 15

第3問 下の所得税率表を参考にして、以下の計算をせよ。(12) 27

課税所得額	税率
0円から330万円まで	10%
330万円から900万円まで	20% - 33万円
900万円から1800万円まで	30% - 123万円
1800万円から3000万円まで	40% - 303万円
3000万円以上	50% - 603万円

- (1) 年収100万円の会社員Aさんの所得税額
 (2) 課税所得100万円の会社員Bさんの所得税額
 (3) 課税所得500万円の会社員Cさんの所得税額
 (4) 課税所得1000万円の会社員Dさんの所得税額
 (5) 課税所得2000万円の会社社長Eさんの所得税額
 (6) 課税所得4000万円のプロ野球選手Fさんの所得税額

第4問 消費税についての以下の説明文が正しければ、誤りなら×を記せ。(5) 32

- (1) 日本で消費税が新設されたのは1989年である。
 (2) 現在の消費税率は5%である。
 (3) 消費税は各事業者が負担したものを消費者が納税している。
 (4) 消費税は年間売上3000万円以下の事業者は納めなくてよいことになっている。
 (5) 消費税のような間接税は、一般に低所得者ほど税負担が軽くなる。

第5問 金本位制度と管理通貨制度の違いについて説明せよ。なお金本位制度の欠点にもふれること。(5) 37

第6問 ()に入る語を記号で選び、後の問いに答えよ。(25) 62

資本主義経済では(1)が基本である。(1)の結果、経済が発展したのは確かだ。けれども、(1)は万能ではない。そこで政府の経済活動、つまり(2)が必要となる。

政府の経済活動には3つの働きがある。ひとつは、公共財・公共(3)の提供である。
 A 民間企業では供給されにくい財や(3)を、赤字覚悟で提供するのである。

2つめは所得の再分配である。B 高額所得者から多くの税を徴収し、C 社会保障給付は弱者に多く配分する方法がとられる。3つめは景気の調整で、景気や(4)の調節をはかり経済を安定させる。

(2)には、自動安定化装置というべき働きがそなわっている。というのは、不況期には税収が(5)し、社会保障給付は(6)する。好況期には逆のことがおきるからである。深刻や不況や景気の過熱に対しては、より積極的な政策がとられる。たとえば不況期における(7)や景気過熱期における(8)がそれである。

(2)には国家(2)と地方(2)がある。国家(2)の場合、一般会計の規模はおよそ(9)兆円である。1年間の収入を(10)、支出を(11)といい、それらの見積もりを(12)、結果を(13)という。(10)の中心は租税で、不足分は(14)で補う。また歳出の中心は(15)、(16)などである。

これとは別におよそ(17)兆円の(18)とよばれるものがある。これは(19)や年金の掛け金を原資に政府が貸し付けするものである。

- (語群) ア．財政 イ．財政投融资計画 ウ．物価 エ．サービス オ．予算
 カ．決算 キ．歳入 ク．歳出 ケ．国債 コ．社会保障費 サ．地方財政費
 シ．減少 ス．増加 セ．減税 ソ．税の新設 タ．自由競争 チ．郵便貯金
 ツ．50 テ．80 ト．400

問1 下線Aに関連して、このような働きの例として**適切でないもの**を一つ選べ。

- ア．人口が減少した地域の学校を廃校にする。
- イ．学校体育館を無料で地域に開放する。
- ウ．民間バス会社が撤退した後に村営バスを運行する。

問2 下線Bのような税制を何というか。

問3 下線Cについて正しく説明した文を次から一つ選べ。

- ア．雇用保険の保険料は給料に関係なく一定である。
- イ．健康保険の給付率は所得に関係なく一定である。
- ウ．雇用保険は自分の都合で退職した人には給付されない。

第7問 下の表に従い(1)-(10)の租税をA - Dに分類せよ。(10) 72

	国税	地方税
直接税	A	B
間接税	C	D

- (1) 法人税 (2) 市民税 (3) 入湯税 (4) 酒税 (5) 相続税
 (6) 所得税 (7) 消費税 (8) 固定資産税 (9) 関税 (10) 自動車重量税

第8問 金融について()に入る語を記号で選び、問に答えよ。(18) 90

金融には(1)金融と(2)金融とがある。銀行を通じて資金を調達するのは(1)金融、証券市場で(3)や(4)を発行して資金調達するのは(2)金融である。これまで

の日本では、(1)金融が主流であった。

日本では過去には、政府が(5)を規制し、業務の垣根を明確にしてきた。(5)が規制されているため、銀行は高い(5)で預金を集める必要がなく、貸出(5)を低く抑えることができた。だがA(5)の自由化は1994年に完了し、現在はさらに業務の自由化が進んでいる。

日本銀行がおこなう金融政策には、次の3つがある。日銀から市中銀行への貸出金利を変化させる(6)操作、(3)や手形を売買する(7)操作、市中銀行の(8)を変化させる(8)操作である。これらにより、B通貨供給量を増減させて、景気や物価の調節をはかっている。

(語群) ア．間接 イ．直接 ウ．株式 エ．債券 オ．公開市場
カ．閉鎖市場 キ．公定歩合 ク．自由競争 ケ．預金準備率 コ．金利

問1 下線Aについて、正しく説明した文を一つ選べ。

ア．預金(5)は、銀行が違って同一県内では同じである。

イ．預金(5)は、同じ銀行でも預金額によって異なることがある。

ウ．預金(5)は、銀行が違えば必ず異なる。

問2 下線Bについて、通貨供給量のことを何というか、カタカナ7字で記せ。

第9問 労働問題について()に入る適語を記号で選び、問に答えよ。(10) 100

資本主義社会では、働こうとする者はどんな仕事をするか自由であるし、雇う側は誰を雇うか自由である。これは、(1)自由の原則に基づくものである。(2)と(3)とは、形式上は対等だが、実質は前者優位である。そのため、賃金が低い、労働時間が長い、不景気による(4)などの(5)が生じた。

各企業の給料・仕事内容・勤務時間などの労働条件は(6)に明記されている。

(語群) ア．労働基準法 イ．雇用 ウ．労働問題 エ．失業 オ．就職
カ．努力 キ．契約 ク．求人票 ケ．資本家 コ．労働者

問1 雇用についての説明文で正しいものに、誤りに×を記せ。

(1)近年、正社員の割合が増加している。

(2)パートタイマーの雇用は正社員よりも不安定である。

(3)契約社員の仕事内容は正社員と異なるのが普通である。

問2 公共職業安定所の愛称をカタカナ6字で答えよ。